

【表2】市町村数の人口と面積

| 区分 | 全 国   |          |                         | 北 海 道 |          |                         |
|----|-------|----------|-------------------------|-------|----------|-------------------------|
|    | 市町村数  | 平均人口 (人) | 平均面積 (km <sup>2</sup> ) | 市町村数  | 平均人口 (人) | 平均面積 (km <sup>2</sup> ) |
| 市  | 675   | 135,238  | 156.97                  | 34    | 129,099  | 406.15                  |
| 町村 | 2,543 | 10,629   | 104.31                  | 178   | 7,268    | 363.45                  |
| 合計 | 2,543 | 36,767   | 115.35                  | 212   | 26,807   | 370.36                  |

※市町村数：H14年4月1日住民基本台帳／面積：全国市町村要覧(H13年版)／人口：H12年国勢調査(面積は、北方領土を除く)

【表3】過疎地域市町村数、人口、面積

| 区 分   | 市町村数 | 人口(千人) |       | 面積(km <sup>2</sup> ) |       | 1km <sup>2</sup> 当たりの人口密度(人) |       |       |
|-------|------|--------|-------|----------------------|-------|------------------------------|-------|-------|
|       |      | 構成比    | 構成比   | 構成比                  | 構成比   |                              |       |       |
| 全 国   | 過疎地域 | 1,210  | 37.5% | 7,530                | 5.9%  | 186,279                      | 50.1% | 40.4  |
|       | 全市町村 | 3,230  | —     | 126,926              | —     | 371,822                      | —     | 341.4 |
| 北 海 道 | 過疎地域 | 159    | 75.0% | 1,106                | 19.5% | 58,853                       | 75.0% | 18.8  |
|       | 全市町村 | 212    | —     | 5,683                | —     | 78,517                       | —     | 72.4  |

※過疎地域市町村数：H14年4月1日現在／全国市町村数、人口、面積：H12年国勢調査(面積は、北方領土を除く)

【表4】人口段階別市町村数

| 区 分    | 総数  | 100万以上  | 10万～99,999 | 50,000～99,999 | 30,000～49,999 | 10,000～29,999 | 1万未満   |       |
|--------|-----|---------|------------|---------------|---------------|---------------|--------|-------|
|        |     | 構成比     | 構成比        | 構成比           | 構成比           | 構成比           | 構成比    |       |
| 市町村数   | 全国  | 3,230   | 12         | 217           | 224           | 262           | 958    | 1,557 |
|        | 北海道 | 212     | 1          | 9             | 6             | 8             | 41     | 147   |
| 人口(千人) | 全国  | 126,926 | 26,852     | 50,155        | 15,466        | 10,052        | 16,161 | 8,240 |
|        | 北海道 | 5,683   | 1,822      | 1,674         | 406           | 308           | 752    | 721   |

※H12年国勢調査



そのため、市町村の行政も自分のまちや一部の地域に限らない、より広い観点で進めることが求められています。

③ 少子高齢化の進行

全国的に少子高齢化が進んでいます。北海道では、過疎化も同時に進み、労働人口も

少なくなり、地域の活力が衰えています。しかし、保健・医療・福祉などの分野では、これまで以上のサービスの提供が、大きな課題となっています。こうしたサービスに必要な財政負担や高齢者を支える人材の確保は、一市町村では解決が難しく、より多くの

④ 厳しい財政状況

人が支え、個々の負担を軽くするために、広域的な対応が必要となっています。

⑤ 多様化する住民ニーズ

生活や価値観の多様化に伴

地方自治法で定められている広域行政の主な制度

① 一部事務組合

- 複数の地方公共団体事務の一部について、共同処理や施設の共同設置・管理を行うため、知事または総務大臣の許可を得て設置される特別地方公共団体。
- 法人格を持ち、構成市町村の協議により、共同処理する事務の内容等を規約に定め、運営される。
- 現在最も多く活用されているが、構成団体の発言力が強い場合、独立の行政主体として広域行政を進めていくことは難しくなる。

② 協議会

- 複数の地方公共団体事務の一部について、共同して管理・執行し、連絡調整、広域的な計画の共同策定を行う組織。
- 知事に届け出て設置するが、法人格がなく、財産の取得や施設整備等、法人格を必要とする事業の実施は不可能。

③ 機関の共同設置

- 複数の地方公共団体の協議により規約を定め、共同で執行機関としての委員会を置き、各地方公共団体の機関として機能する。

④ 広域連合

- 地方公共団体の事務の広域的な連絡調整、総合的・計画的処理を行い、国等からの権限受け入れ機能を果たす(平成6年に設けられた)。
- 広域連合は、全員一致を条件とした場合、その調整能力に限界があり、保健・衛生事務、上水道、消防などの利害関係が生じづらい行政サービスに適している。

③ 北海道は広域分散型構造

この支庁制度改革では、市町村や広域行政と連携し、地域に根ざした支庁の機能強化が求められています。また、道内の市町村合併や広域行政、地域の広域的な連携に配慮して進める必要があります。

北海道の特殊性について考えよう！

国は、こういった今日の課題を解決するため、市町村合併を推進している。はたして、広く、隣まちまで遠い北海道に、合併はあてはまるのだろうか？

北海道には212の市町村があり、全国の都道府県の中

で一番多くなっています。また、北海道の面積は、東北6県と新潟県を合わせた広さがあり、その中に大きな面積を持つ市町村が形成されてきました。市町村合併を考えると、こうした北海道特有の条件を忘れてはなりません。

① 北海道は広い

北海道は、都道府県の中で一番大きな面積を持っています。道内の各市町村は、全国平均の3倍以上の面積を持っています。【表2】

この広さと隣まちまでの距離が、広域行政や市町村合併を進める上で、一つの障害になっています。全国では昭和28年の町村合併促進法の施行により、大幅な合併が進み、昭和40年には市町村数がほぼ3分の1になりました。しかし北海道では、昭和25年の278市町村が、昭和40年で220と約2割の減少にとどまっています。

② 北海道には支庁がある

北海道には、14の支庁があり、市町村への支援、地域経

合併以外のかたち。広域行政って何だ？

合併問題は、いわば効率的で、力強い、新しい市町村自治のかたちを考えると、では、今の市町村のままで、可能なかたちや方法はないのだろうか。

市町村の枠を越え、知恵を出し合い、課題を解決するため、道路などの広域ネットワークの形成、ゴミ・し尿処理、消防等の分野で、広域的な事務処理が行われています。

◆ 北海道の広域行政

北海道の多くの市町村は、人口流出や高齢化、地域産業の衰退など多くの課題を抱え、限られた人員と財源で、効率的に行政サービスを提供するため、広域行政での取り組みが重要になっています。現在、道内には、留萌広域行政組合を含む20の広域市町村圏が設定されています。